

(2) 区のまちづくり目標

- 区のまちづくり目標については、「区のまちづくり目標総括シート」と「事業一覧」によってまとめている。

・ 「区のまちづくり目標総括シート」では、目標の実現に向けた「現状と課題」と「今後の取組みの方向性」をまとめている。

7区で共通する課題など全市的課題については、51施策の「施策評価」で整理されているため、区ごとの特性や独自の取組みに関する課題に絞ってまとめている。

・ 「事業一覧」については、区事業（区の地域特性や独自の課題等に応じて、区ごとに取り組む事業）についてまとめている。

* 平成25年度を「H25n」、平成25年を「H25」と表記している。

区のまちづくり目標総括シート

東区	歴史と自然の魅力にあふれ、人が活躍し、活力を創造するまち・東区 ～住みやすいあしんなまちづくりをめざして～
取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○安全で安心して暮らせるまち ○子どもが健やかに育つまち ○人を大切にし、みんながいきいきと活躍できるまち ○新しい都市機能を担い、活力を創り出すまち ○歴史・文化、自然の魅力を生かし、新しい可能性を生み出すまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

	東区		全市	備考
	H23	H24	H24	
年少人口(0～14歳)	42,022 (14.4%)	42,354 (14.4%)	196,277 (13.3%)	H23. 10. 1 H24. 10. 1時点の 推計人口
生産年齢人口(15～64歳)	199,070 (68.1%)	198,032 (67.3%)	1,003,943 (68.2%)	
老年人口(65歳以上)	51,366 (17.6%)	54,007 (18.3%)	272,137 (18.5%)	
総数	292,458	294,393	1,472,357	
	H17	H22	H22	
単独世帯数	47,262 (40.1%)	56,811 (42.7%)	337,103 (47.7%)	H17, H22国勢調査
高齢者単独世帯数	8,125 (6.9%)	10,653 (8.0%)	59,995 (8.5%)	
全世帯総数	117,887	133,024	706,428	

●安全で安心して暮らせるまち

- ・H21の豪雨災害にあった校区に配備している地域土嚢(約1万袋)について、一部で劣化が認められる。
- ・H24nに導入された「災害時要援護者支援情報提供」制度については、覚書を締結した自治協議会は12校区であるが、支援計画の策定には至っていない。
- ・東区内でのH24の交通事故発生件数は、2,214件(前年比92件の増)、飲酒運転事故が10件(前年比3件の減)発生しており、さらなる取組みが求められる。
- ・セアカゴケグモの発見報告は、H24(9～12月)は255件・6,785匹、H25(1～3月)は355件・9,457匹と、7区で最多であり、早期発見・駆除が求められる。

●子どもが健やかに育つまち

- ・東区の0～4歳の転出・転入者は、7区で最多である(H22国調:転出者1,487人、転入者1,514人)。また、0～4歳の外国人登録人口も426人(H24.9月住民基本台帳登録人口)で全市の51%を占めており、区の特性を踏まえた子育て情報の提供や子育て支援者のネットワークづくりを進める必要がある。

●新しい都市機能を担い、活力を創り出すまち

- ・香椎駅周辺における土地区画整理事業は進捗率54.9%(事業費ベース)と計画どおりに進んでいるが、その進捗にともない、新たな店舗の開店や商店街が再生されるまでの間、まちの賑わいを維持していく必要がある。
- ・アイランドシティ整備事業は、埋め立て竣功率約81%、居住人口約5,100人(H25.3月末)と、H39nの土地分譲終了に向けて事業を推進している。

● 歴史・文化、自然の魅力を生かし、新しい可能性を生み出すまち

- ・区内に芸術系の大学（九州産業大学、九州造形短期大学）があるが、大学の専門性をまちづくりに十分生かし切れていない。
- ・志賀島（金印）という日本唯一の歴史・文化資源、海の中道や立花山、三日月山、多々良川などの豊かな自然を生かした地域活性化やまちづくりを進める必要がある。

※区事業の実施状況は、別紙「事業一覧」のとおりです。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●安全で安心して暮らせるまち

- ・劣化している約1万袋の土嚢を、H25nから計画的に交換していく（毎年約2,000袋）。
- ・災害時要援護者制度の周知啓発のため、各校区に積極的に説明を行っていく。
- ・H25nにおける交通事故発生件数の目標を2,090件以下とし、交通安全運動の推進を図る。
- ・セアカゴケグモの定期的な調査や駆除の徹底を図る。

●子どもが健やかに育つまち

- ・地域や子育て支援団体等からなる「地域子育て支援会議」をさらに充実させ、地域の中でネットワークづくりや地域ボランティアの育成などを進める。
- ・子育てに不安を持つ保護者に対する「効果的なしつけ」プログラムとして、「ノーバディズ パーフェクト（NP）」「コモンセンス・ペアレンティング（CSP）」を利用した子育て教室を検討し、実施する。

●新しい都市機能を担い、活力を創り出すまち

- ・「香椎まちなか美術館」や「香椎灯明まつり」など、地域、NPO、企業、行政が協力し、区内の大学の専門性や学生のマンパワーを活用して、香椎駅周辺におけるにぎわいづくり事業を定期的実施する。
- ・公・民・学で先進的モデル都市づくりを進めるとともに、アイランドシティのまちづくり、みなとづくりについて、積極的に情報発信を行っていく。

● 歴史・文化、自然の魅力を生かし、新しい可能性を生み出すまち

- ・「東区芸術祭（仮称）」の開催、芸術系大学の学生との交流事業、東区の魅力ある様々な芸術・文化活動の情報を一体的にとりまとめたPR冊子「アートな東区」の発行などにより、区民の芸術・文化への関心を一層高めていく。
- ・東区の自然の魅力をまとめたリーフレットの作成を検討するなど、東区の魅力発信の取組みをさらに強化する。

事業一覧

【東区】 歴史と自然の魅力にあふれ、人が活躍し、活力を創造するまち・東区
～住みやすいあんしんなまちづくりをめざして～

事業名	H25n予算額 単位：千円	H24n実施状況
所管課	H24n事業費 単位：千円	
地域防災・防犯対策事業	5,108	1. 3校区(箱崎校区, 千早西校区, 美和台校区)での安全安心マップの更新 ①箱崎校区:防災を目的とし, 町内の第1次避難場所を決定し表記 ②千早西校区:交通安全を目的とし, 交通事故注意箇所の表記 ③美和台校区:防災・防犯・交通安全全般を目的とし, 各注意箇所を表記 2. 水防対策については, 地域に配備している土のうに耐光性シートを設置したり, 劣化したものについては更新した。
東区区政推進部総務課	3,987	
地域の子育てネットワークづくり	1,068	1. 子育て支援会議 13校区(14回)で実施した。会議では, 校区の現状や子育て支援状況, 各団体の取り組みなどの情報交換, 課題等を出し合う場となった。子育て交流サロンや育児サークルの参加者が増えないことやサポーター数の減少, 高齢化等の問題点が出され, 継続した子育て支援会議の必要性や乳児から小学生まで切れることなく支援できる体制づくりを目指したい等積極的な意見が出された校区もあった。 2. 子育て情報ガイド 10校区更新し, 東区版を英語版で作成した。
東区保健福祉センター地域保健福祉課	818	
長野県安曇野市との交流事業 (区民フェスティバル事業)	2,000	1. 博多どんたく港まつり 安曇野どんたく隊受入 安曇野市長・安曇野市民団 計54名 東区演舞台及び産直市出店, 総踊り参加 H24.5.3(祝・木)、4(祝・金) 2. 東区の青少年が安曇野市を訪問し交流事業を実施 東区9名 安曇野市10名 及び引率スタッフ6名 H24.7.31(火)～H24.8.3(金)
東区区政推進部企画振興課	1,910	
東区大学・地域まちづくり事業	1,900	1. 東区コミュニティユース事業 大学・学生から提案のあった8事業(新規4, 継続4)について活動支援を行った。 2. 大学の専門性を生かした香椎アートのあるまちづくり事業 香椎商工連盟, 九州造形短期大学と行政が協力し, 香椎に縁のある風景・人物をモチーフにした絵画二点を制作し, 西鉄香椎駅壁面に展示した。 3. 東部地域三大学連携事業 ○大学の施設及び教諭により市民向け公開講座三回及びバスツアーを一回実施した。(「東区を知ろう～歴史と文化～」) ○大学生のアート作品を区役所内に展示する「区役所まるっと美術館」を実施した。
東区区政推進部企画振興課	2,051	

区のまちづくり目標総括シート

博多区	お互いが支え合い、安心して人が暮らし、歴史と伝統が息づくまち・博多区
取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○お互いが支え合い、交流し、健やかに暮らせるまち ○安全で安心して暮らせるまち ○歴史と伝統を生かしたにぎわいのあるまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

	博多区		全市	備考
	H23	H24	H24	
年少人口(0～14歳)	21,595 (10.4%)	21,946 (10.4%)	196,277 (13.3%)	H23.10.1 H24.10.1時点の 推計人口
生産年齢人口(15～64歳)	151,068 (72.7%)	151,777 (72.0%)	1,003,943 (68.2%)	
老年人口(65歳以上)	35,234 (16.9%)	37,010 (17.6%)	272,137 (18.5%)	
総数	207,897	210,733	1,472,357	
	H17	H22	H22	
単独世帯数	54,166 (55.0%)	79,610 (64.2%)	337,103 (47.7%)	H17, H22国勢調査
高齢者単独世帯数	8,286 (8.4%)	11,512 (9.3%)	59,995 (8.5%)	
全世帯総数	98,573	124,070	706,428	

●お互いが支え合い、交流し、健やかに暮らせるまち

- ・単身世帯の割合が指定都市で最も高い福岡市(H22国調:47.7%)にあつて、博多区は7区で最も高い(同:64.2%)。
- ・児童相談、高齢者相談数は増加傾向にあり、相談・支援体制の強化が求められる。(H24n 児童相談件数:645件、高齢者相談件数:15,663件(いずれも対前年度横ばい))

●安全で安心して暮らせるまち

- ・交通事故、犯罪認知件数、放置自転車数が7区で最多であり、事故や犯罪が少ない安全なまちづくりが求められる。
 - ・交通事故件数(H24):3,040件(前年度比87件の減)
 - ・犯罪認知件数(H24):5,360件(前年度比441件の増)
 - ・自転車の放置率(H24.10月)17.8%(前年同月比0.3%の減)
- ・特に中洲川端地区における放置自転車が減らず、取組みの強化が必要である。

●歴史と伝統を生かしたにぎわいのあるまち

- ・寺社や名所旧跡、伝統ある祭り、伝統工芸など優れた歴史文化資源が多数存在し、九州新幹線全線開通やJR博多シティ開業により来街者が増加しているが、これらの歴史文化資源を十分生かしてきれていない。

*H24JR博多駅乗降者数92,384千人(前年比2,661千人増)

※区事業の実施状況は、別紙「事業一覧」のとおりです。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●お互いが支え合い、交流し、健やかに暮らせるまち

- ・児童虐待防止の取り組み、保育所待機児童の解消（保育コンシェルジュの活用）を進める。
- ・高齢者の相談・支援体制作りを強化するとともに、高齢者の総合相談窓口での情報提供や必要なアドバイスを行う。

●安全で安心して暮らせるまち

- ・路面シートの貼付（25n50 か所整備予定）、歩行空間の整備や交通安全施設の整備など、安全で快適な生活基盤の整備を行う。
- ・地域による安全安心マップの作成支援（25n3 校区を予定）や防犯教室、防犯パトロール研修などの開催支援（H25n44 回開催予定）をはじめとした地域の防犯活動を支援する。
- ・計画的な駐輪場の整備を行うとともに、自転車利用者に対する啓発、撤去などの放置自転車対策を行う。
特に、中洲川端地区においては自転車放置禁止区域を指定するなど、取組みを強化する。

●歴史と伝統を生かしたにぎわいのあるまち

- ・博多ライトアップウォーク、秋に博多で行われるイベントをとりまとめたキャンペーン「博多秋博」など、歴史や伝統文化を活かし、地域・企業・行政が連携し、集客力の向上とまちの活性化をめざす。特に、H26.2月には承天寺そばに「博多千年門」が完成することを契機に、PRを強化していく。
- ・歴史的景観と調和の取れた道路整備などにより、回遊性の向上を図る。

事業一覧

【博多区】 お互いが支え合い、安心して人が暮らし、歴史と伝統が息づくまち・博多区

事業名	H25n予算額 単位：千円	H24n実施状況
所管課	H24n事業費 単位：千円	
博多駅周辺環境整備（おもてなし対策）事業	5,708	(放置自転車対策・駐輪場案内啓発事業) ・路面シートの作成・貼付については、貼付実施箇所における損傷等について調査を行い、9月末までに実施した。(博多駅周辺95か所) ・駐輪場案内チラシについては、博多駅周辺の放置自転車常習箇所へのカラーコーンや張り紙の設置等を優先したため次年度以降に対応することとした。
博多区地域整備部自転車対策・生活環境課	9,049	・地下鉄祇園駅、呉服町駅、JR竹下駅西側、博多駅の各周辺地区においては、放置禁止区域指定に伴う地元協議終了後、指定に向けた周知を行った。 (博多駅周辺の放置自転車対策) ・街頭指導員の効果的な配置を行うとともに、計画的な即日撤去を実施した。 ・8～10月を強化月間として、街頭指導や即日撤去を強化して実施した。
公園内の違法駐輪対策事業	5,018	委託により都市公園で街頭指導を行い、駐輪マナーの向上、違法駐輪防止に取り組んだ。
博多区地域整備部維持管理課	8,317	
地域防犯推進事業	1,306	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事案の情報提供及びパトロールの実施 緊急事案(刺傷事案・サル出没・連続ひったくり等)発生時に、地域への情報提供及び近隣の通学路でパトロール(青パト使用)を実施した。 17事案・延53回・延110名 ・防犯教室の実施 博多警察署や市民局の協力を得、地域・小学校・事業所等で実施した。 実施回数48回、受講人数6,767名 ・博多区地域防犯活動研修会の開催 博多警察署・博多防犯協会の協力を得、22校(地)区から62名参加した。 ・街頭犯罪防止に向けた物資支援 H24nは16校(地)区からの支援物品要求があり、配布した。
博多区総務部総務企画課	959	
博多ライトアップウォークの推進	11,000	<p>「博多ライトアップウォーク2012 博多千年煌夜」を8会場で実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州内および近郊の旅行会社に開催について通知、JRの協力により交通結節点での広報強化を行い、観光客をより多く呼び込むよう努めた。 ・寺社の魅力を知ってもらうため、会場において特別拝観を実施、また会場として2寺院を追加した。 ・地域に密着したイベントとするため、博多小学校の児童にランタンを制作してもらい、また、地域の飲食店に来場者へのサービスを実施してもらった。
博多区地域支援部地域振興課	10,000	
地域密着型の集客・まちづくり	6,997	<ul style="list-style-type: none"> ○博多の魅力発信会議 地域住民・企業・行政が一体的に取り組んでいくため、定期的に会議を開催するとともに、秋に行われるイベントの広報キャンペーン「博多秋博」などを実施。 ○博多遊学プロジェクト 賑わいづくりや回遊性向上のため、秋博スタンプラリー、寺社コンサートなどのイベントを地域、企業、行政が連携して実施。
博多区地域支援部地域振興課	4,549	
おもてなしの人材活用事業	3,648	<ul style="list-style-type: none"> ・博多専門の観光ガイドを養成するための研修を実施。研修修了後、「博多ガイドの会」の設立及び活動を支援した。 ・博多の観光案内パンフレットを制作し、観光客が手軽に観光情報を入手できるよう地域の店舗等で配布した。
博多区地域支援部地域振興課	3,241	

区のまちづくり目標総括シート

中央区	人が集い、人が輝き、人がやさしいまち「中央区」 ～にぎわい・元気・安心がつながるまちをめざして～
取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○自然、歴史、地域の魅力を生かした、にぎわいのあるまち ○思いやりの心で人がつながり、元気に暮らせるまち ○誰もが安心して暮らせるまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

	中央区		全市	備考
	H23	H24	H24	
年少人口(0～14歳)	17,990 (10.2%)	18,355 (10.2%)	196,277 (13.3%)	H23.10.1 H24.10.1時点の 推計人口
生産年齢人口(15～64歳)	130,054 (73.8%)	131,049 (73.2%)	1,003,943 (68.2%)	
老年人口(65歳以上)	28,264 (16.0%)	29,715 (16.6%)	272,137 (18.5%)	
総数	176,308	179,119	1,472,357	
	H17	H22	H22	
単独世帯数	54,284 (59.0%)	67,499 (63.2%)	337,103 (47.7%)	H17, H22国勢調査
高齢者単独世帯数	6,848 (7.4%)	9,473 (8.9%)	59,995 (8.5%)	
全世帯総数	91,929	106,825	706,428	

●自然、歴史、地域の魅力を生かした、にぎわいのあるまち

- ・九州新幹線全線開通等により来街者が増加しており、都心部の回遊性の向上やにぎわいの創出を図る必要がある。
(H23 入込み観光客数：1,168万人(前年比3.6万人の増))
- ・万葉歌碑や鴻臚館跡、福岡城跡といった史跡等多くの見どころがあるが、来街者等に十分に知られていないものが多く、まちの資源として有効に活用していく必要がある。
* 鴻臚館跡整備事業：H26n 基本構想策定 福岡城跡整備事業：H25n 基本計画策定

●思いやりの心で人がつながり、元気に暮らせるまち

- ・「中央区は約9割の住民がマンション等共同住宅に住み、転勤者が多いことから、地域のつながりが希薄化しやすく、世帯の孤立化が懸念される。特に、育児ノウハウの伝承が難しいなど、子育て相談に対する行政ニーズが高い。
- ・中央区の高齢化率は16.5%(H25.3月)と7区の中で最も低いものの、年々上昇しており、中年期からの健康づくりが重要となっている。

●誰もが安心して暮らせるまち

- ・中央区の放置自転車は2,582台(H24)で減少傾向にあるが(前年比298件の減)、依然として約15,000台の撤去を行っており、撤去頻度を減らすと違法駐輪が増加する状況である。特に、赤坂・大名地区は駐輪場が少ないため、放置禁止区域の指定ができず放置自転車が減らない状況にある。
- ・交通事故件数のうち自転車事故の占める割合は中央区が30.1%(H24)と7区で一番高く、自転車の歩道における安全走行が課題である。
- ・ひったくりや車上ねらいなど街頭犯罪の発生件数は減少傾向にあるものの依然として多く、地域の防犯活動の支援や住民の防犯意識の高揚など、犯罪が発生しにくい環境づくりを推進する必要がある。
* 街頭犯罪件数：H24 2,414件、H23 2,238件、H22 2,224件、H21 2,445件

※区事業の実施状況は、別紙「事業一覧」のとおりです。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●自然、歴史、地域の魅力を生かした、にぎわいのあるまち

- ・都心部から鴻臚館跡、福岡城跡への回遊性の向上やにぎわいの創出を図るため、市民参加型のイベント等の実施や、「まち歩きマップ」の活用促進等に取り組む。
- ・エリアマネジメント団体「We Love 天神協議会」との共働により、都心部のにぎわいの創出などを推進する。
- ・都心に近い大濠公園と舞鶴公園について、セントラルパークとして有機的な連携・一体的な活用を図っていく。
- ・鴻臚館跡や福岡城跡といった貴重な歴史的文化遺産や舞鶴公園の利用の活性化のため福岡城さくらまつりを開催するなど、これらの魅力をさらにPRする。

●思いやりの心で人がつながり、元気に暮らせるまち

- ・子育て支援に関するニーズに十分に対応できるよう、相談体制や効率的な事業実施方法等について検討していく。
- ・今後高齢者になる世代が生涯現役で地域づくりに参加できるよう、「スマ☆カワ60「還活」事業」と称し、還暦前後の人たちへ健康管理に関する知識を普及するとともに地域デビューのきっかけづくりを行う。

●誰もが安心して暮らせるまち

- ・放置自転車については、街頭指導の強化を図るとともに、引き続き違法駐輪の撤去を行っていく。特に、赤坂・大名地区の禁止区域指定に向け、駐輪場の確保を進めていく。
- ・各校区が抱える自主防犯活動の悩みを把握し、効果的に実施できる側面的支援について検討を行う。

事業一覧

【中央区】人が集い、人が輝き、人がやさしいまち「中央区」
～にぎわい・元気・安心がつながるまちをめざして～

事業名	H25n予算額 単位：千円	H24n実施状況
所管課	H24n事業費 単位：千円	
都心部まちめぐり推進事業	1,585	①H20～H23年度にかけて電柱や照明灯に設置した「通り名称プレート」の維持管理(点検・清掃等)を実施 ②H21～H23年度にかけて地区ごとに作成したまちあるきマップ(大名・今泉地区、天神地区、春吉等地区)を都心部集約版として1つに再編集した「都心部3エリアまち歩き地図帖」を作成・配布(20,000部) ③地区ごとに作成したまちあるきマップの増刷(大名・今泉地区:2,800部 天神地区:2,800部 春吉等地区:10,000部)
中央区区政推進部企画課	2,234	
中央区歴史・文化を生かしたまちづくり推進事業	2,299	①「まちの魅力再発見講座」を実施 対象校区:平尾校区、春吉校区、当仁校区、簗子校区 延べ100名 実施内容:歴史講座、まち歩き、ワークショップ ②福岡城さくらまつり、おおほりまつりのPRのために、ポスター、リーフレットを作成・配布(ポスター200部、リーフレット3500部)
中央区区政推進部企画課	685	
地域コミュニティ活動活性化支援事業	2,061	①自治会・町内会長交流会(新任会長向け説明会6/28, 全会長対象に事例発表と意見交換の交流会2/16, 3/24) ②キラリ校区支援事業(地域課題解決の意欲がある校区を対象にワークショップ等の開催を支援・3/24平尾校区で実施) ③出前講座(校区が実施する自治会・町内会長研修に校区担当職員が出向いて支援, 6校区・計7回) ④広報力充実支援(校区HPやブログの開設及び運営を支援, HP運営支援:当仁, ブログ開設支援:笹丘・大名) ⑤安全安心マップ(多くの住民の参加を得てDIGや校区の安全点検等を実施しマップを作成, 当仁及び笹丘)
中央区区政推進部地域振興・支援課	676	
乳幼児子育て安心事業	2,112	①母子何でも相談 1回/月実施。助産師による相談を実施し、延べ632組が参加 ②この指と一まれ教室 親子教室1回/月、個別相談2回/年実施。延べ52組の親子が参加 ③子育て安心セミナー 年間14回実施。延べ216組の母子が参加。教室アンケートや個別相談の中で育児不安や育児環境問題等の要支援家庭を把握し、家庭訪問や母子何でも相談で継続的にサポートをおこなった
中央区保健福祉センター健康課・地域保健福祉課	2,103	
人と自転車が共生できるまちづくり事業	13,974	①モラルマナー啓発 放置常習地点に街頭指導員を重点的に配置し、放置防止と誘導による利用等の啓発活動実施: 街頭指導員延べ約12,000人 ②放置自転車の撤去 放置自転車が多い天神地区を中心に即日撤去を実施: 撤去数15,082台
中央区地域整備部維持管理課	13,091	
食と美容の安全・安心プロモーション事業	1,729	①食の安全・安心の推進 生食肉を食べることの危険性やイベント・バザー等での食中毒予防に関するパンフレットの配布、講習会の実施に加え、8月の食品衛生月間イベントとして、手洗い実習、パンフレット街頭配布キャンペーンを実施。(パンフレット配布数:17,000部) ②美容の安全・安心の推進 美容施術による健康被害防止に関するパンフレットの配布を行うとともに、事業者向け講習会を実施。(パンフレット配布数:8,000部)
中央区保健福祉センター衛生課	1,581	
中央区地域防犯対策事業	1,906	①地域防犯団体と警察と共働で防犯街頭啓発キャンペーンを実施(5回) ②ひったくりや不審者情報などの緊急事案にかかる犯罪情報を地域へ情報提供 ③校区防犯担当者会議を実施(1回) ④地域の防犯活動に必要な物資の支援(反射電柱幕, LEDライト等) ⑤地域ボランティア団体が実施する落書き消し活動に対する作業用具の提供(3団体) ⑥「中央区犯罪が起きにくいまちづくり総合対策会議(NCC)を設置(H25.2) ⑦暴走族追放キャンペーンの実施(ポスター700枚, チラシ3,000枚を配布)
中央区区政推進部総務課	1,888	

区のまちづくり目標総括シート

南区	いきいき南区 ぐらしのまち ～身近な自然とふれあい みんながつながり支え合う～
取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○人のつながりや交流が大切にされ、地域で支え合い・助け合うぐらしやすいまち ○みんなにやさしい、安全で安心して住み続けられるまち ○那珂川やため池、油山などの自然がさらに身近に感じられるうるおいとやすらぎのあるまち ○大学や隣接地域との連携・交流や文化活動などが盛んで、活気あふれるまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

	南区		全市	備考
	H23	H24	H24	
年少人口(0～14歳)	33,663 (13.6%)	34,085 (13.7%)	196,277 (13.3%)	H23.10.1 H24.10.1時点の 推計人口
生産年齢人口(15～64歳)	167,647 (67.8%)	167,314 (67.1%)	1,003,943 (68.2%)	
老年人口(65歳以上)	45,908 (18.6%)	47,992 (19.2%)	272,137 (18.5%)	
総数	247,218	249,391	1,472,357	
	H17	H22	H22	
単独世帯数	43,813 (40.3%)	46,220 (41.2%)	337,103 (47.7%)	H17, H22国勢調査
高齢者単独世帯数	7,514 (6.9%)	9,892 (8.8%)	59,995 (8.5%)	
全世帯総数	108,734	112,306	706,428	

●人のつながりや交流が大切にされ、地域で支え合い・助け合うぐらしやすいまち

- ・少子化が進行する中、母親が子育てに不安・負担を感じて孤立化することがないよう、安心して生み育てられるための施策や、子どもが健やかに育つための施策が求められている。
- ・高齢化率が20%を超える校区が過半となっており、高齢者が心身ともに健康で社会と繋がりを持って暮らせるよう応援する施策がますます重要になっている。

●みんなにやさしい、安全で安心して住み続けられるまち

- ・高齢者のみの世帯の割合が15.7% (H22 国調) と7区中最も高く、災害時の要援護者の支援方法の確立等が課題となっている。

●那珂川やため池、油山などの自然がさらに身近に感じられるうるおいとやすらぎのあるまち

- ・南区の景観の大きな特色である56か所のため池をはじめ、油山や那珂川などの身近な自然環境を守り育むとともに、健康づくりなどにも活かしていくことが重要である。

●大学や隣接地域との連携・交流や文化活動などが盛んで、活気あふれるまち

- ・区内・周辺部には7つの特色ある大学・短大が立地しているので、その専門的知識や人材などを住民生活の課題解決等に活かす取組みが重要である。

※区事業の実施状況は、別紙「事業一覧」のとおりです。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●人のつながりや交流が大切にされ、地域で支え合い・助け合うくらしやすいまち

- ・新米ママや若年ママのための親子セミナー、発達が気になる子どもと親が集えるサロンを開設するなど、育児不安を軽減し、孤立化や虐待への移行を予防するとともに、子育て情報の提供や、子どもの正しい生活リズムの普及啓発などに取り組み、みなみっ子の元気な成長を応援する。
- ・高齢者の健康づくりや社会参加に関する講座、地域で高齢者を見守るしくみづくりなどを進め、高齢者が元気で心豊かな人生を送れるよう応援する。

●みんなにやさしい、安全で安心して住み続けられるまち

- ・校区安全安心マップを「福岡市 web まっぷ」上で有効活用できるよう、各校区を支援する。
- ・災害時における要援護者をはじめとする住民の安全確保のため、地域と共働で防災・防犯意識の醸成、組織や従事者の育成、訓練などに取り組むとともに、ワークショップやセミナーなどを通じて、先進的な地域の取組み事例を紹介し、全体の意識向上につなげる。

●那珂川やため池、油山などの自然がさらに身近に感じられるうるおいとやすらぎのあるまち

- ・瓢箪（ひょうたん）池環境整備（H25n まで）をはじめ、さらに自然に親しむためのさまざまな取組みを推進する。

●大学や隣接地域との連携・交流や文化活動などが盛んで、活気あふれるまち

- ・住民を対象とした大学版出前講座や公開講座など、大学と地域をつなぐ事業を推進する。
- ・那珂川町とのウォーキング大会などの交流事業や、桧原桜を活かしたまちづくり等を推進する。

事業一覧

【南区】いきいき南区 暮らしのまち ～身近な自然とふれあい みんながつながり支え合う～		
事業名	H25n予算額 単位：千円	H24n実施状況
所管課	H24n事業費 単位：千円	
元気ハツラツみなみっ子応援事業 (A みなみっこ子育て支援、B 子育て情報マップ作成、C 子どもの生活リズム向上普及啓発)	1,522	[A]みなみっこ子育て支援 ○育児不安を感じやすい層に早期にアプローチし支援するため、1歳未満の乳児を持つ若い母親を対象に交流会「プチママ☆あつまれっ!」を、初めて子育てをする生後間もない乳児の母親を対象に「生後1～3ヶ月新米ママのための親子セミナー」を実施 [B]南区子育て情報マップの作成・配布 ○中学校区ごとに作成し、こんにちは赤ちゃん訪問、こどもプラザ、子育て支援課窓口などで配布。区ホームページからダウンロードも可能 [C]子どもの生活リズム向上のための普及啓発 ○「南区子どもの生活リズムアンケート調査報告書」配布、リーフレット配布、健康フェアで「啓発コーナー」設置、「南区子ども月間(10・11月)」に街頭キャンペーン実施 等
南区保健福祉センター 地域保健福祉課 (A, C) 子育て支援課 (B)	873	
いきいきシニア応援事業 (A南区耳 バリアフリープロジェクト、B南区 地域福祉ネットワークづくりモデル 事業)	4,299	[A]南区耳バリアフリープロジェクト ・九州大学大橋キャンパスと共同で、「聞こえ」をテーマにした講演会や、バス・ヒアリング・ループ実証実験を実施 [B]南区地域福祉ネットワークづくりモデル事業 ・モデル校区2校区においてワークショップの開催と、要援護者のニーズに関する意識調査を実施 ・うち1校区で、基本マニュアルの作成と支援者側の人材育成を目的とした研修会を開催
南区保健福祉センター 地域保健福祉課 (B) 区政推進部 企画振興課 (A)	787	
南区地域安全安心まちづくり事業	4,903	○校区安全安心マップの福岡市ホームページ(webまっぷ)上での活用 ・校区ヒアリングを実施。(南区全25校区) ・安全安心マップの地図データをwebまっぷに取り込み、必要な校区が随時マップを編集できるようにシステムを改修。
南区区政推進部総務課	1,687	○災害時要援護者避難支援対策の充実強化 ・ワークショップの実施。(2校区:計6回) ・南区自主防災組織セミナー開催
水辺や緑に親しむまちづくり事業	888	【ハード事業】 ・瓢箪(ひょうたん)池環境整備工事(道路下水道局予算) [H25nまで]
南区区政推進部企画振興課 地域整備部地域整備課	719	【ソフト事業】 ・那珂川川下り大会の開催(H24.8.4) ・南区水辺のカレンダーの作成・配布(H24.12配布)
大学と地域の緑むすび事業	689	・「南区大学連絡会議」の開催 (H24.6.6, H25.2, 21) ・南区大学情報バンクの運営 ・「南区公開講座」の開催
南区区政推進部企画振興課	331	・南区出前講座(大学版)の実施 ・南区魅力ある地域づくり懇談会(学生版)の開催

区のまちづくり目標総括シート

城南区	豊かな暮らしがあるまち・城南区 ～大学・自然と共生し、地域で支え合う安全で安心なまちづくり～
取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○安全で安心して暮らせるまち ○地域で支えあう、ぬくもりのあるまち ○地域と大学が共生するまち ○自然環境を大切にするまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

	城南区		全市	備考
	H23	H24	H24	
年少人口(0～14歳)	16,698 (13.0%)	16,690 (13.0%)	196,277 (13.3%)	H23.10.1 H24.10.1時点の 推計人口
生産年齢人口(15～64歳)	88,169 (68.7%)	87,138 (67.9%)	1,003,943 (68.2%)	
老年人口(65歳以上)	23,453 (18.3%)	24,480 (19.1%)	272,137 (18.5%)	
総数	128,320	128,308	1,472,357	
	H17	H22	H22	
単独世帯数	28,615 (47.2%)	29,678 (47.7%)	337,103 (47.7%)	H17, H22国勢調査
高齢者単独世帯数	4,132 (6.8%)	5,275 (8.5%)	59,995 (8.5%)	
全世帯総数	60,655	62,189	706,428	

●安全で安心して暮らせるまち

- ・H21.7月に発生した集中豪雨、樋井川水系の河川氾濫により4校区が浸水した経験なども踏まえ、地域防災力の強化や災害に強いまちづくりを着実に進める必要がある。
- ・城南区では全市平均と比べても年少人口の割合が低く、少子化が進んでおり、安心して生み育てられる環境づくりを行っていく必要がある。

●地域で支え合う、ぬくもりのあるまち

- ・城南区では全市平均を上回るスピードで高齢化が進んでおり、独居や認知症などの高齢者問題への取組みが求められている。

●地域と大学が共生するまち

- ・区内にある福岡大学、中村学園大学の学生数は約2万5千人で、区人口の約2割に相当している。大学の高い教育研究機能や設備、専門的知識を持つ人材などを地域課題の解決に活かす取組みが求められている。

●自然環境を大切にするまち

- ・区域の南部に位置する油山、区域を貫流する樋井川など、身近にある豊かな自然環境を次世代に継承していくとともに、住みやすい環境づくりに活かしていく必要がある。

※区事業の実施状況は、別紙「事業一覧」のとおりです。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●安全で安心して暮らせるまち

- ・樋井川の浸水対策として、福岡大学との連携のもと、過去に浸水被害にあった校区での避難ガイドブックを作成するとともに、地域防災リーダーを養成するなど、継続して地域防災力の向上を図る。
- ・月齢に応じた子育て情報やトピックスなどを配信している携帯用メールマガジン「子育てにっこりんメール」において、アンケートによるニーズの把握や、対象年齢の拡大を検討するなど、安心して生み育てられる環境づくりを進める。

●地域で支え合う、ぬくもりのあるまち

- ・認知症に関する正しい知識を普及啓発し、校区全体で支え合う「認知症になっても暮らしやすい地域づくり」を進める。
- ・自治協議会などの地域団体と共働して、参加者自身の健診結果を生かして、校区単位の健康課題をテーマとした健康講座をシリーズで開催し、区民の自主的な健康づくりを促進する。

●地域と大学が共生するまち

- ・大学、大学生が地域活動に参画しやすくなるように、地域と大学・大学生との定期的な情報交換や大学生への地域活動情報発信の仕組みづくり、共働事業などを行い、大学を生かしたまちづくりを推進する。

●自然環境を大切にすまち

- ・油山の四季折々の魅力や、ハチクマの渡りが観察できる日本有数の観察スポットである片江展望台でのハチクマウォッチングの開催をPRするなど、自然環境を大切にすまちづくりを進める。

事業一覧

【城南区】 豊かな暮らしがあるまち・城南区
～大学・自然と共生し、地域で支え合う安全で安心なまちづくり～

事業名	H25n予算額 単位：千円	H24n実施状況
所管課	H24n事業費 単位：千円	
防災対策事業 (避難ガイドブック作成・地域防災リーダー養成・要援護者避難計画支援等)	1,558	①H24nから福岡大学と連携し、防災士養成研修プログラムに現在9名受講中である。 ②過去浸水被害を受けた校区の中で、H24nは田島校区で作成した。今年度は鳥飼校区を対象に協議していく。 ③避難支援計画の策定に向け、城南区自治協議会連絡会議で話した。
城南区区政推進部総務課	990	
安全安心のまちづくり (校区安全安心マップ改訂・自主防犯パトロール活動支援・安全安心街頭キャンペーン実施等)	1,852	①城南区防犯推進協議会による防犯活動の推進 ②安全安心マップの改訂(鳥飼校区、城南校区) ③防犯グッズの支給(各校区5万円) ④高齢者を対象とした交通安全・防犯啓発の実施 ⑤街頭キャンペーンの実施(7、12月) ⑥防犯講座の実施 ⑦地域防犯パトロールカー活動支援
城南区区政推進部総務課	1,833	
城南区子育て応援メルマガ事業	1,192	月齢に応じた子育て情報を月1回配信するほか、子育てにまつわる幅広い情報を集め配信した。 また、登録者アンケートを実施して情報のニーズを調査し、その結果を区の関係課で構成するワーキンググループで検証し、配信内容に反映した。 ①配信件数:77件(平均月6件) (内訳)月齢に応じた子育て情報:12件(月1件) 臨時号:65件(平均月5件) ②H24n末登録者数:966人(年度中324人増)
城南区保健福祉センター健康課	999	
地域を支える人材発掘・育成支援事業	541	研修会や意見交換会を開催 ○人材発掘事業 ①PTA活動者の地域活動研修(七隈校区) ②大学生への地域活動ガイダンス(七隈校区) ○人材育成事業 ①地域リーダー養成研修(鳥飼, 別府, 片江校区) ②新任自治会・町内会長研修(全校区対象に区で合同研修 2回) ③会計担当者研修(全校区対象に区で合同研修 1回) ④各公民館で主催事業として開催
城南区区政推進部地域支援課	456	
大学のあるまちづくり(大学・大学生と地域の連携交流推進)	1,155	○大学、地域、行政で構成する協議会への参加 ○大学と区役所の意見交換の実施 ○「大学生によるまちづくり応援団事業」による共働事業実施 ○大学と地域の情報交流の場づくり ・大学への地域活動情報発信の仕組みづくり支援 ・大学サークルリーダー研修等での公民館事業案内 ○大学生の地域活動に対する広報支援
城南区区政推進部企画振興課	1,203	

区のみちづくり目標総括シート

早良区	ひと・みず・みどりが光り輝く「早良区」 ふれあいと交流のあるまち
取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○お互いが支え合い安心して暮らせるまち ○早良区の特徴を生かした魅力あるまち ○地域の魅力を生かしたまち ◆～活力とにぎわいのあるまち～ 北部 ◆～地域の新しい拠点となるまち～ 中部 ◆～豊かな自然を生かした市民の憩いのまち～ 南部

1 区のみちづくりの目標に関する現状や課題

	早良区		全市	備考
	H23	H24	H24	
年少人口(0～14歳)	32,106 (15.1%)	32,157 (15.1%)	196,277 (13.3%)	H23. 10. 1 H24. 10. 1時点の 推計人口
生産年齢人口(15～64歳)	142,414 (67.0%)	140,970 (66.2%)	1,003,943 (68.2%)	
老年人口(65歳以上)	37,958 (17.9%)	39,894 (18.7%)	272,137 (18.5%)	
総数	212,478	213,021	1,472,357	
	H17	H22	H22	H17, H22国勢調査
単独世帯数	30,195 (34.9%)	32,128 (35.6%)	337,103 (47.7%)	
高齢者単独世帯数	6,181 (7.1%)	7,467 (8.3%)	59,995 (8.5%)	
全世帯総数	86,621	90,134	706,428	

●お互いが支え合い安心して暮らせるまち

- ・核家族化、地域コミュニティの希薄化等の社会状況の変化により、地域において子育て家庭が孤立化している。子育てへの不安感を軽減し、児童虐待、発達障がい等支援を要する子どもや家庭をめぐる問題に対応する必要がある。
- ・早良区の特定健診受診率は7区で最高(H23n: 22%)である一方、40歳代は11.2%(4位)と低いことなどから生活習慣病予防の重要な年代である働きざかり世代を対象に、健康づくりの啓発活動を強化する必要がある。
- ・団塊世代の大量退職期の到来を契機に、定年退職後に必要な情報提供を行うとともに、地域活動に参加しやすいきっかけづくりにより、地域の担い手不足解消等へ繋げていくことが求められている。
- ・福岡市における犯罪認知件数は、H14をピークに減少傾向にあるが、ひったくりや自転車盗等の街頭犯罪は多発している。早良区には学校が多数あるため、児童・生徒を狙った性犯罪の防止にも注力する必要がある。

●早良区の特徴を生かした魅力あるまち

- ・早良区を代表する脊振山系や室見川などの豊かな自然を保全し、次世代へ引き継いでいく必要がある。
- ・H24. 5月に地域の要望のもと誕生した「サザエさん通り」を生かしたまちづくりなど、早良区の魅力を生かした地域活性化や認知度の向上に取り組む必要がある。
- ・早良区中南部地域における区レベルの行政サービスを補完する施設として、地域交流センターの早期整備を図る必要がある。

●地域の魅力を生かしたまち

- ・早良区南部地域は少子高齢化や農林業の後継者不足など、地域の活力低下が懸念されており、地域や行政が共働で南部地域の魅力を生かしたまちづくりを推進する必要がある。

※区事業の実施状況は、別紙「事業一覧」のとおりです。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●お互いが支え合い安心して暮らせるまち

- ・発達が気になる親子支援のための子育てサロン「もちもち」の開催や、子育て情報誌の発行などにより、子育て世代の不安軽減と子育てを応援する。
- ・生活習慣病予防の重要な年代である働きざかり世代を対象に、健康づくりへの関心を行動へ結びつけるための啓発活動を行う。
- ・シニア世代向けセカンドライフの応援の一環として「シニアのための智恵袋」を活用した地域人材の発掘にかかる事業を行うなど、地域の担い手増加に取り組む。

●早良区の特性を生かした魅力あるまち

- ・室見川水系の一斉清掃を継続するとともに、ポイ捨てをさせない環境づくりとして、啓発や防止策の検討を引き続き行う。
- ・「サザエさん通り」の認知度向上やさらなる地域活性化のため、H25nに策定する構想に基づき、ハード・ソフト両面からの施策の充実や広報の強化を官民共働で行う。
- ・「さわらの秋」事業をはじめとして、早良区の魅力について、区内外の住民への認知度を高めるための広報戦略や地域資源のブランド化に取り組む。

●地域の魅力を生かしたまち

- ・早良区南部地域の魅力を生かしたまちづくりを進めるため、地域との連携を図りながら、検討・実施するなど、地域の魅力を生かした取組みを行う。

事業一覧

【早良区】ひと・みず・みどりが光り輝く「早良区」ふれあいと交流のあるまち

事業名	H25n予算額 単位：千円	H24n実施状況
所管課	H24n事業費 単位：千円	
さわらっ子育て応援事業（子育て情報誌、発達障害サロンなど）	3,995	①発達が気になる親子支援 リーフレット1万部作成・配布 子育てサロン「もちもち」の開催 12回 参加人数112組 269人 「もちもち」ミニ講座の開催 9回 参加人数100人 子育て講演会の開催 3回 参加人数73人 ②こども虐待防止に向けた取組 小学校出前講座(対象者:教員) 10校で開催 参加人数202人 保育所出前講座(対象者:保育士) 1回開催 参加人数37人 全体研修会(対象者:要保護児童関係機関構成員)1回開催,参加人数120人 虐待防止啓発チラシ10万部作成し、市政だよりと同時配布 ③子育て情報の充実 子育て情報誌2種類の版下作成、子育て情報マップの増刷
早良区保健福祉センター子育て支援課地域保健福祉課	1,622	
働きざかりの健康づくり（健康づくり応援団の店事業、サブウェイダイエット事業）	758	①レシピ等のリーフレット等を作成し、商店街の協力店舗（健康づくり応援団の店）を通じて健康情報を発信した。（健康づくり応援団の店への配布作業はヘルスメイトが協力） ②交通局が取り組んでいる「SUBWAY DIET」事業および早良区内の障がい者支援施設「板屋学園・このは」と連携し、地下鉄西新駅構内に階段利用を呼び掛ける壁面広告を設置（10～11月）し、啓発を行った。 啓発媒体には、障がいを持つ方々の作品を取り入れ、市民生活の身近なところにアートがあるまちづくり及び障がい者の社会参加の要素を盛り込んだ。 ③早良区食生活改善推進員協議会と連携し、どんたく（西新広場）、食育月間（西新エルモールプラザ）、サザエさん通りでウォーキング！（西新公民館前緑地）において啓発を行った。
早良区保健福祉センター健康課	713	
シニアのための智恵袋	1,115	1. 冊子の作成 ◇作成部数 4,000部(H25.1月) ※改定版印刷 ◇配付場所 関係各課窓口・区役所情報コーナー、市情報プラザ等 2. 生きがいがづくり応援イベント「シニアとくどくカフェ」の開催 (早良市民センター) ◇参加者数 53名 (H25.2.9(土) 13:30～17:00) ◇内 容 生きがいがづくり講座 (講師)吉岡教江, 加留部貴行 参加者等による意見交換会(ワールドカフェ) 3. 生きがいがづくり応援講座の開催(公民館等) ◇参加者数:79名 ※H25.1～3月に3講座合計
早良区保健福祉センター福祉・介護保険課	988	
校区安全安心まちづくり推進事業	2,877	①地域住民が主体となった、安全安心マップの作成 ②安全安心まちづくりの意識の普及啓発として主に外出の少ない高齢者を対象に防犯に関する情報提供等を行い犯罪の防止を推進する。 ③地域で活動している自主防犯パトロール隊への物品(腕章、防犯ブザー等)の支援。
早良区区政推進部総務課	2,756	④各校区の防犯担当者による連絡会を開催し、防犯に関する意見交換や、活動事例発表、専門家による情報提供を行う。 ⑤地域の中心となって活動を行う人材の育成を行い、自主防犯活動の推進を図る。 ⑥日頃よく散歩をされている方たちにパトロール隊として登録してもらい、パトロール中に腕章を着用することで、地域の防犯の抑止力に繋がる。
室見川水系一斉清掃	878	①福岡県福岡県土整備事務所へ除草依頼(H24.6月) ②第1回実行委員会(H24.9月) ③各校区自治協議会等へ参加要請(H24.10月) ④一斉清掃実施(H24.11月) ⑤第2回実行委員会(H24.12月)
早良区地域整備部生活環境課	1,031	

事業名	H25n予算額 単位：千円	H24n実施状況
所管課	H24n事業費 単位：千円	
さわら魅力アップ事業 (サザエさん通りを生かしたまちづくり、さわらの秋等)	10,659	<p>○サザエさん通りを生かしたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サザエさん通りオープニング式典実施 ・サザエさん通りプレートの設置 ・サザエさん通りウォーキング大会等のイベント実施 <p>・「サザエさん通り」周辺の自治協議会関係者及び福岡西部まちづくり協議会、福岡市関係部局によるワークショップを開催し、「サザエさん通り」を生かしたまちづくりの方向性について検討を行った(2回・延べ約100人参加)</p> <p>○さわらの秋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットを作成し、秋の早良の観光地、イベント、味覚等を紹介。(A5版24ページ、印刷部数20,000部) ・マスコミ・メディアを活用した広報活動 ・「さわらの秋」ロゴマーク愛称募集(応募総数373作品) 選考委員会の開催を経て愛称「さわ☆ラッキー」に決定。 ・RKBラジオまつり出展。さわらの秋PRブースを設置し、特産品販売・PR
早良区区政推進部企画課	11,278	<ul style="list-style-type: none"> ・サザエさん通りウォーキング大会を開催。参加者数 約138名。 ・さわらの秋ウォーキング大会を開催。参加者数 約350名 ゴール地点(脇山中央公園)で地元の協力の下、伝統芸能等の披露や特産品を販売。 <p>○早良区の魅力情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区の取り組みや見どころ、地域の行事等を、市政だより、区ホームページ、フェイスブックなど、多様なツールで情報発信するとともに、コンテンツ充実に向け各所属への働きかけ、課長以上へのフェイスブック研修を実施した。 ・区民の視点による情報を収集・発信する「よかこ情報探検隊」について、さらなる情報の発掘を図るため、隊員を2人増員し8人にするるとともに、寄せられた情報をホームページ等に掲載した(24年度のHP掲載件数95件) ・早良区にある自然や史跡を記した「よかこマップ」を配布するとともに、情報を加筆修正し、増刷(5千部)を行った。
早良みなみ元気応援事業	1,890	<p>「早良区南部地域活性化事業計画」で位置づけた早良みなみ塾の各分科会の主要な取り組みについて、体験農園の開園や野河内溪谷自然観察会の開催など具体的な事業構築を行い、その実現に向けた支援を行い、今後地域が自主的に活動運営を行うことのできる体制づくりなどをまとめた推進マニュアルを作成した。</p>
早良区区政推進部企画課	2,551	<ul style="list-style-type: none"> ①「早良みなみ塾」全体会の開催 3回(延べ139人参加) ②「早良みなみ塾」各分科会の開催 29回(延べ245人参加)

区のまちづくり目標総括シート

西区	自然と大学の知を生かし、安全で安心して、生き生きと暮らせるまち・西区 ～ 「自然・市民・大学」の3つの宝を磨きあげる～
取組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○自然を生かし、環境にやさしいまち ○にぎわいと楽しさがあり、地域が支え合う、生き生きと暮らせるまち ○大学の知と人材を取り込んだ創造性に富むまち ○子どもから高齢者まで、安全で安心して暮らせるまち

1 区のまちづくりの目標に関する現状や課題

	西区		全市	備考
	H23	H24	H24	
年少人口(0～14歳)	30,394 (15.6%)	30,690 (15.5%)	196,277 (13.3%)	H23.10.1 H24.10.1時点の 推計人口
生産年齢人口(15～64歳)	127,228 (65.3%)	127,663 (64.7%)	1,003,943 (68.2%)	
老年人口(65歳以上)	37,211 (19.1%)	39,039 (19.8%)	272,137 (18.5%)	
総数	194,833	197,392	1,472,357	
	H17	H22	H22	
単独世帯数	19,213 (28.1%)	25,157 (32.3%)	337,103 (47.7%)	H17, H22国勢調査
高齢者単独世帯数	4,375 (6.4%)	5,723 (7.3%)	59,995 (8.5%)	
全世帯総数	68,254	77,880	706,428	

●自然を生かし、環境にやさしいまち

- ・豊かな自然をもつ西区では、都市と自然の近接という特性を活かしたまちづくりが必要である。
- ・地域での環境活動を活発化するためには、活動のリーダー的役割を担う人材が不可欠であるが、その人材が不足している。

●にぎわいと楽しさがあり、地域が支え合う、生き生きと暮らせるまち

- ・市街化調整区域では、人口の減少や少子高齢化、公共交通機関の減少などの問題が顕著に生じている地域もある。

●大学の知と人材を取り込んだ創造性に富むまち

- ・地域と九州大学が直接、連携・交流できる仕組みや関係性が少しずつ構築されてきているが、さらに大学の知識と多彩な人材を地域の人材育成やまちづくりに活かしていく必要がある。

*H24nの九州大学と地域との連携・交流事業数：36事業（目標15事業）

●子どもから高齢者まで、安全で安心して暮らせるまち

- ・全校区に自主防災組織が立ち上げられたものの、その組織が災害時に対応できる体制になっているのか不安を抱えており、さらなる取組が必要である。

*西区自主防災研修会アンケート結果：「自主防災組織の活動は十分にできていない」50%以上

※区事業の実施状況は、別紙「事業一覧」のとおりです。

2 目標実現に向けた今後の取組みの方向性

●自然を生かし、環境にやさしいまち

- ・人材育成講座による人材の発掘・育成を図るとともに、活動のノウハウ、情報提供等の支援などにより、自立した環境活動を促進する。

●にぎわいと楽しさがあり、地域が支え合う、生き生きと暮らせるまち

- ・市街化調整区域のまちづくり活動支援や関係局と連携した協議を継続的に行うことに加え、まちづくりの取組みにおいて地域だけで実現・実行が困難な内容については、地域主導を維持しつつ、支援・助言を行っていく。

●大学の知と人材を取り込んだ創造性に富むまち

- ・伊都キャンパスのバスツアー、地域の連携ニーズ調査や「九大便利帳」の活用などにより、大学と地域の連携を促進する。

●子どもから高齢者まで、安全で安心して暮らせるまち

- ・地域防災専門員による校区単位の自主的な避難所運営訓練の支援を全校区に広げ、実践能力向上を図っていく。
- ・地域・警察・行政が一体となった新たな防犯組織を立ち上げて、情報共有、連携強化に努め、安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組む。

事業一覧

【西区】 自然と大学の知を生かし、安全で安心して、生き生きと暮らせるまち・西区
 ～「自然・市民・大学」の3つの宝を磨きあげる～

事業名	H25n予算額 単位：千円	H24n実施状況
所管課	H24n事業費 単位：千円	
地域の自治力強化に向けた校区支援事業	1,272	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会新任役員研修を、各校区が抱えている課題の解決に向け校区単位で実施し、7校区で実施した。 ・自治会・町内会役員一般研修は、「行政に頼らない感動の地域づくり」というテーマで全国的に活動してある豊重哲郎氏による講演会を実施した。アンケートでは、参加者の大半が「参加してよかった」との意見だった。 ・自治協議会実務者研修を9.27に実施し、各自治協の運営方法等の情報交換及び行政に対する要望等を出してもらった。要望等については、西区の各所属に報告し、再認識した。
西区総務部地域支援課	650	
西区市街化調整区域のまちづくり活動支援事業	2,010	<ul style="list-style-type: none"> ・「西部6校区まちづくりプラン」の実行支援 ・今津校区におけるまちづくり計画の支援(都市計画法第34条第11号の適用による地区指定及び地区計画決定) ・地域公共交通機関の確保に関する検討(「西区登山マップ」の増刷及び作成)
西区総務部総務課	424	
大学と地域の連携・交流促進事業	1,951	<ul style="list-style-type: none"> ・九大生と地域住民による「伊都祭」の開催支援(負担金) ・さいとびあを活用したサークル発表会等の開催支援 ・子ども向けの科学実験事業、農水畜産体験学習事業、航空・宇宙体験学習事業の実施 ・歴史公開講座の実施 ・地域の連携ニーズ調査 ・大学と地域との連絡調整 ・「活かそう！九大便利帳」の更新
西区総務部総務課	1,584	
西区防犯対策事業(地域防犯力の強化推進事業)	3,851	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心マップの改訂支援(6校区実施、改訂内容は地域で決定) ・地域防犯パトロールカーの車検支援事業(6校区実施) ・西区自主防犯パトロール立ち上げ及び拡充支援事業(4校区実施) ・防犯活動情報交換会の実施
西区総務部総務課	2,073	
地域自主防災力及び防災・危機管理体制の充実・強化	5,129	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災訓練等の指導・支援(31件実施) ・区総合防災訓練の実施 ・情報伝達訓練の実施 ・災害危険箇所の点検指導(マップ掲載) ・自主防災組織支援物資支給事業の実施
西区総務部総務課	4,061	